

第5次綾部市総合計画
基本計画

第4章

**豊かさとしぎわいを
生み出すまちづくり**

第1節 農林業・内水面漁業の振興 ……	110
第2節 農村の活性化 ……	116
第3節 商業の振興 ……	118
第4節 工業の振興 ……	120
第5節 観光交流の推進 ……	122
第6節 地元雇用の確保 ……	124

4 第1節 農林業・内水面漁業の振興

現況と課題

現況

- 輸入農産物の増大に伴う価格低迷や産地間競争の激化、安全で新鮮な農産物を求める消費者ニーズの高まりなど、食料・農業を取り巻く環境が厳しさを増す中、耕作放棄地の増加や若年層の農業離れによる農業後継者の不足、農業従事者の高齢化、有害鳥獣による被害の増加など、生産環境の悪化が続いています。
- 綾部市では、経営基盤の強化を図るため、^{*}認定農業者や^{*}集落営農組織の育成など、農業の担い手を育成するほか、農地や農業施設の保全に努めています。
- 綾部市の森林は約26,600haで、市域の約77%を占めており、そのうち約46%が人工林となっていますが、林業は、高齢化と後継者不足により、間伐などの手入れが行われない人工林が増大し、森林の荒廃が進むとともに、長期にわたる木材価格の低迷により経営は極めて厳しい状況が続いています。
- 内水面漁業は、由良川・上林漁業協同組合と連携し、アユ・ウナギ・アマゴ等の放流事業を行っています。

課題

- ^{*}認定農業者や^{*}集落営農組織等の育成と農業経営の法人化の取組を進めていくとともに、農業後継者やUターンなどの新規就農者の支援を行う必要があります。
- イノシシやシカ、サルなどが、人間の生活圏にまで生息域を拡大させ、農林業に大きな被害を与える中、効果的な被害対策を進めていく必要があります。
- 山林は木材等を生産する直接的な機能のほかに、水源のかん養、大気や水の浄化、地球温暖化や災害の防止など、自然環境を保護する重要な多面的機能を有しており、これらを最大限に発揮するためにも保育や間伐などを計画的に進め、森林環境の整備を図る必要があります。

^{*}認定農業者：農業経営について、改善する必要がある内容を掲げ、5年後の経営目標の実現のための方法（農業経営改善計画）を市町村へ提出し、認定されることによって、特定の支援が受けられる農業者。
^{*}集落営農組織：集落内の各農家が協力し、地域ぐるみで農業経営に取り組む組織。

■農家数の推移

年	区分	農 家 数					
		総農家	販 売 農 家			自給的農家	
			専業農家	1種兼業	2種兼業		
平成2年		4,437戸	3,001戸	651戸	315戸	2,035戸	1,436戸
平成7年		3,986戸	2,703戸	647戸	285戸	1,771戸	1,283戸
平成12年		3,555戸	2,288戸	584戸	207戸	1,497戸	1,267戸
平成17年		3,197戸	1,898戸	602戸	195戸	1,101戸	1,299戸

(農業センサス)

■農家人口の推移

年	区分	農 家 人 口				
		総 数	販売農家		自給的農家	
			男	女	男	女
平成2年		16,164人	5,439人	5,777人	2,301人	2,647人
平成7年		13,976人	4,698人	5,009人	2,014人	2,255人
平成12年		12,501人	4,039人	4,200人	2,013人	2,249人
平成17年		10,145人	3,220人	3,301人	1,691人	1,933人

(農業センサス)



稲刈り風景

施策の目標

- ◆農道や用排水路などの農業基盤の整備により、優良農地の確保や適切な維持管理に努めるとともに、後継者や担い手の育成を図り、綾部市興農会議を中心に地域の特性をいかした農業の振興を目指します。
- ◆効率的かつ安定的な農業を展開するため、有害鳥獣対策を推進し、農作物被害の減少に努めます。
- ◆国・京都府及び関係機関と連携し、林家への技術指導や担い手の確保等に努めるとともに、森林の持つ多面的な機能維持のため、森林整備や保全活動を推進し、林業の活性化と森林資源の保全・活用を目指します。

計画

農業の生産基盤の整備と優良農地の確保

- ^{*}農業振興地域整備計画に基づき、優良農地の適正な管理と確保に努めます。
- 中山間地域等直接支払制度や農地・水・環境保全向上対策を活用し、荒廃農地の発生防止や耕作放棄地の解消に努めます。
- 農業委員会を中心に積極的な農地の利用関係の調整に努め、多様な担い手への利用集積や流動化を促進します。
- 農道、用排水路、ため池など農業基盤整備を計画的に推進します。

農業の担い手の育成

- 農業の主要な担い手として、認定農業者の育成を図ります。
- 担い手養成実践農場整備支援事業や農業後継者就農支援事業を活用し、新規就農者などの確保と育成を図ります。
- 集落営農組織の強化を図るため、定年退職者やU I ターン者など人材の確保に努めるとともに、農業組織の法人化を促進します。
- 地域の多様な担い手として、女性や高齢者、青年グループの活動を促進します。
- ^{*}(株)農夢が行う農業の人材育成や就農機会の確保、中核的な京野菜農家の育成や京ブランド野菜の計画出荷などの取組を支援します。

農業振興地域整備計画：優良農地を乱開発から守り、効果的な保全・管理・利用を図ることを目的に定めた計画。計画期間は概ね10年間。

(株)農夢：第3セクターの農業生産法人。

有害鳥獣対策の推進

- 農作物等被害防除のため、防護柵等の設置を推進するとともに、関係機関と連携し、防護柵等の設置に係る現地研修やパンフレット等の冊子による普及啓発活動に努めます。
- 和牛放牧や^{*}バッファゾーンの設置、間伐による里山の整備等により、有害鳥獣を寄せ付けない集落環境づくりに努めます。
- 綾部猟友会と連携し、従来からの駆除とあわせ、集中的に行う特別駆除活動を実施するなど、有害鳥獣の個体数調整を一層積極的に推進するとともに、狩猟後継者の育成に努めます。
- 捕獲鳥獣の適切な処理を図るため、京都府・近隣市と連携し、^{*}個体処理施設の設置を検討します。

農・畜産物の生産振興

- 農業関係機関・団体と協力し、需要に応じた米の計画的な生産を進めるとともに、戸別所得補償制度及び自給率向上事業などの活用により、需給調整を図ります。
- J A 京都にのくにやJ A 京都、京都府と連携し、特色ある米づくりを推進するため、^{*}エコファーマーの取得を進めるなど、有機農業等に取り組む農業者の営農活動を支援します。
- 各地域やJ A 京都にのくに、市内スーパーにおける直売所の活動を促進するとともに、小・中学校や福祉施設の給食に地元産農産物の更なる使用を働きかけるほか、食育の日や食育月間を活用して^{*}地産地消の取組を推進します。
- 関係機関と連携し、新たな米の需要拡大につながる米粉食品の普及啓発を図ります。
- 京のブランド産品・特産物の生産拡大と品質の向上を図るとともに、収益性の高い施設型農業を展開するためパイプハウスなどの施設整備を推進します。
- 綾部茶の品質向上及び生産の省力化を図るため、茶園の拡大や管理機械の導入などを促進するとともに、綾部茶ブランドのP Rに努めます。
- 肉用牛生産振興事業などの活用により優れた子牛の生産を支援し、畜産業の振興を図ります。
- 畜産農家と^{*}耕種農家が連携して行う自給飼料の生産・利用拡大の取組を推進します。
- 関係機関と連携し、家畜排せつ物の適正な管理と有機肥料としての利用を促進します。
- 農業経営の多角化につながる^{*}6次産業化や^{*}農商工連携の取組を支援します。

バッファゾーン：人と野生動物を隔てるため、里山を帯状に整備すること。緩衝地帯。

個体処理施設：シカやイノシシの焼却、埋却、食肉加工等を行う施設。

エコファーマー：化学肥料や農薬の使用を減らした農家で、都道府県知事が認定した農家。

地産地消：地域の消費者ニーズに即応した農業生産と、生産された農産物を地域で消費しようとする活動を通じて、農業者と消費者を結びつける取組。

耕種農家：田畑を耕して作物をつくる農家。

6次産業化：農山漁村が生産(第1次産業)だけでなく、食品加工(第2次産業)、流通・販売(第3次産業)にも主体的・総合的にかかわることで高付加価値化を図り、活性化につなげていこうという考え方。

農商工連携：農林漁業と商工業の人々が知恵を持ち寄り、新しい商品やサービスに結び付ける取組。

林業の振興

- *森林整備計画に基づいて、林業の体質強化や森林資源の保全など地域の特性に応じた林業振興施策を推進します。
- 京都府や綾部市森林組合と連携し、後継者の確保・育成に努めます。
- 綾部市認定林道路線の維持、管理、補修に努めます。
- 優良材の生産を拡大するため、保育・間伐などを促進します。
- 間伐材運搬対策事業等により、間伐材の出材と有効利用を促進します。
- *集約化施策・利用間伐を促進するとともに、*ウッドマイレージ制度や丹州材を広くPRし、需要拡大に努めます。
- 松林等の環境保全・整備に努め、丹波くりや丹波まつたけなど地域特産物の生産振興を図ります。
- 森林災害を未然に防ぐため、治山事業を活用し、林地の保全を図ります。
- 森林資源の保全を図るため、松くい虫防除事業、放置竹林拡大防止事業、クマはぎ被害防止事業などを実施します。
- 企業による*モデルフォレスト活動や森林ボランティア活動などを支援します。



京都丹州木材市場

内水面漁業の振興

- 由良川・上林漁業協同組合の実施する稚魚放流事業を支援し、水産資源の安定増殖を図ります。
- *上林川を美しくする会の活動を支援し、水質保全の啓発・実践活動を推進します。
- 公共下水道事業、農業集落排水事業、特定地域生活排水処理事業による水洗化の整備を促進し、河川の水質保全に努めます。

目標とする指標	基準値(平成21年度)	目標値(平成27年度)
農業後継者就農支援事業後継者数(累計)	4人	10人
有害鳥獣被害面積(年間)	13,416 a	6,708 a
有害鳥獣防除施設対象面積(年間)	46,000 a	80,500 a
地産地消(朝市)参加生産グループ(年間)	11団体	16団体
間伐材運搬対策事業搬出量(年間)	—	3,500m ³
内水面漁業振興対策事業放流量(年間)	2,936kg	3,000kg
農業法人数(累計)	11法人	15法人
認定農業者数(累計)	57人	62人
新規就農者数(累計)	50人	60人



鮎の放流(上林川)

森林整備計画: 森林施策の基本方策や作業路網の整備、林業後継者の育成など森林整備全般にわたる計画。
集約化施策: 小規模に分散した林地を取りまとめて路網を整備しつつ、林業機械を効率的に用いて森林整備を実施すること。
ウッドマイレージ: 環境問題に関する指標の一つで、木材の量と木材の産地と消費地までの輸送距離を乗じた値。この値が低いほど環境への負荷が低い。
丹州材: 古くから良質といわれる由良川筋のヒノキを始めとする、中丹地域の山から生産される木材。
モデルフォレスト活動: 流域を単位に、林業団体と環境保全体、上下流住民などの地域の利害関係者総参加のもとに行われる森林を核とした地域づくりの実践活動で、持続可能な森林経営の実現を目指す。

上林川を美しくする会: 上林川の清流をよみがえらせ、次代に引き継ぐことを目的に、市民・事業者・行政の協働により河川の環境保全に対する自発的な取組を行う組織。

4

第2節 農村の活性化

現況と課題

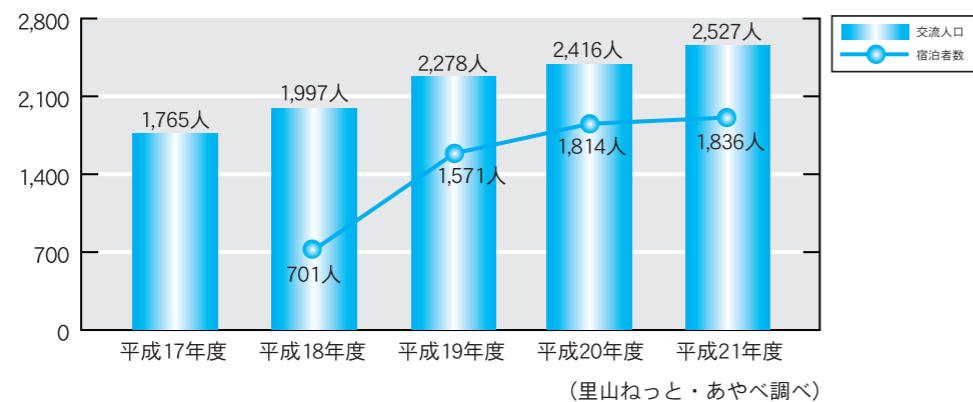
現況

- 農村集落では、人口減少、少子・高齢化が進行し、従来営まれてきたコミュニティが維持できない状況が見られます。また、山林の荒廃や農地の耕作放棄などが進み、集落の機能も低下し、存続自体が危ぶまれる所もあります。
- 農村定住を希望する都市住民が増加する中で、綾部市ではあやべ定住サポート総合窓口を開設し、総合的な定住支援を行っています。
- 奥上林・中上林地域等では地域振興協議会を設立し、地域が抱える高齢者問題、防災・防犯問題など山積する地域課題の解決に向けた活動を展開しています。
- 過疎・高齢化が著しく進行し、コミュニティの維持が困難な集落を「水源の里」として位置付け、*水源の里条例を制定し、定住促進住宅の建設や農村都市交流、特産品の開発など集落の再生に向けた取組を行っています。

課題

- 農林業の振興を基本に、定住化やUターン促進に向けて、就労の場の確保、生活道路、水洗化、消防施設、医療・福祉サービス、情報基盤等の生活環境の整備を図る必要があります。
- 農村でしか味わえない環境や田舎暮らしの魅力、農村定住の様々な取組を全国に発信し、都市住民との交流や定住化に向けた環境・体制づくりを進める必要があります。

■里山ねっと・あやべによる農村都市交流人口



水源の里条例: 存続が危機的状況に直面している集落を水源の里と位置付け、過疎化に歯止めをかけ、地域の振興と活性化等を図るために制定した条例。

施策の目標

- ◆農村地域の生活基盤の整備に努めるとともに、美しい里山・田園の景観や農業、農村の暮らしなど地域資源を活用した農村と都市との交流の推進、住居や就労の場の確保などの定住支援に努めます。

計画

農村集落活性化の推進

- 中山間地域等直接支払制度などにより、集落の活性化に向けた取組や活動を支援します。
- 地域振興協議会などが行う地域の自立に向けた特色ある取組を支援します。
- 水源の里集落等への定住促進、地域資源を活用した特産物の育成、都市交流などの取組を推進し、集落のコミュニティ再生・振興を図ります。
- 生活道路、水洗化、消防施設、医療・福祉サービス、情報基盤など、安全で快適な生活環境づくりを推進します。
- 集落や農地周辺の山林を整備し、里山の再生に努めます。

農村都市交流の推進

- 農村都市交流を積極的に推進し、農村地域の活性化を図ります。
- *NPO法人里山ねっと・あやべなどが取り組む農業体験や農家民泊、観光農園など、*グリーンツーリズムを促進します。

定住の促進

- 空き家の流動化や住宅の確保支援など、定住のための条件整備に努めます。

目標とする指標	基準値(平成21年度)	目標値(平成27年度)
里山交流研修センター施設利用者数(年間)	6,687人	7,000人
里山交流研修センター宿泊者数(年間)	1,836人	2,000人
定住世帯数(定住サポート総合窓口扱い)(年間)	15世帯	15世帯
農村都市交流人口(受入数)(年間)	2,527人	3,000人

NPO法人里山ねっと・あやべ: 豊かな自然や地域の伝統文化、知恵、情報、人脈などをいかした参加型の事業を展開する特定非営利活動法人。
グリーンツーリズム: 農山村における緑豊かな自然、美しい景観、伝統文化、地元の人々とのふれあいなどを楽しむ余暇活動。

4

第3節 商業の振興

現況と課題

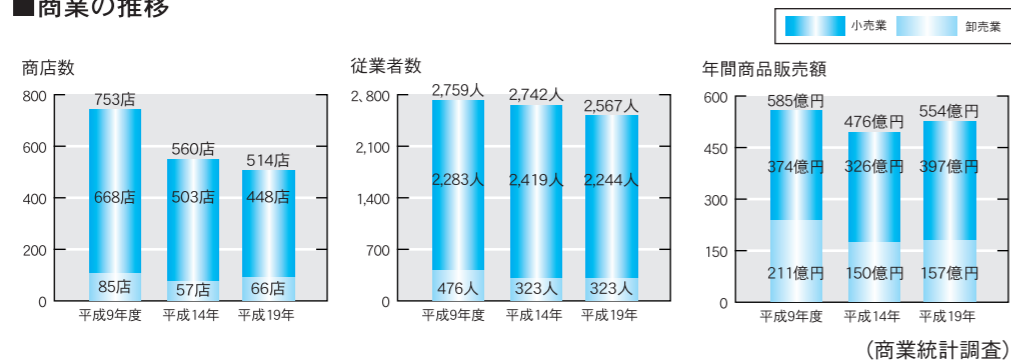
現況

- 少子高齢化やインターネットの普及、消費者ニーズの多様化など、商業を取り巻く環境は大きく変化しています。
- 綾部市の既存商店街は、小規模な個人経営の店舗が多く、集客力の低下や後継者不足による空き店舗の増加とあわせ、大規模店舗の立地、交通環境の整備に伴う都市部への消費流出など、商業者の営業環境は大変厳しい状況となっています。
- 綾部商工会議所と連携し、もみじまつり等の新たな集客イベントの実施や街なかの魅力の発信など商店街等が行う活性化事業を支援しています。また、空き店舗、古民家を活用した新規出店希望者への支援や、街路に石畳や自然色舗装などを施す環境整備に取り組んでいます。
- 中小商店の経営基盤の強化を図るため、利子補給制度を設け事業資金の調達の際の負担軽減を図るなど金融面での支援を行っています。
- 各地区単位で編成されている商工繁栄会は、事業者の高齢化に伴う会員数の減少等により組織力や活力が弱まる中で、研修事業の実施や支援制度の情報提供などに努めています。

課題

- 中心市街地活性化に向けた取組は、具体的な事業が動き始め、関係者の意識の高揚が見られるようになってきた段階であり、今後取り組まれる活性化事業に対して継続的に支援を行う必要があります。
- 個性的で魅力ある商店街の形成や店舗づくり等により、集客力を高めることが重要であり、京都府、綾部商工会議所など関係団体と連携し、商店街の組織力強化など経営基盤面の支援を図る必要があります。

■商業の推移



施策の目標

- ◆ 地域の特色をいかし、消費者のニーズにあった個性的で魅力ある商店街の形成など、人が集まりにぎわう商業空間の創出や商業者の経営基盤の強化を図ります。

計画

魅力ある商店街の形成

- 商業活性化にぎわいづくり推進事業など、商業関係者が主体となった取組を支援するとともに、グンゼ（株）や宗教法人大本等と連携し、まちの魅力づくりを推進します。
- 農林業関係者と商業者との連携を図り、新たな商品やサービスの開発等による商業の魅力の増強を図ります。
- 大規模店舗との連携により、既存商店街エリアへの誘客を促進しながら、各商店街の効果的な集客イベントや広告宣伝活動等を支援します。
- *NPO法人綾部まちなかネットや綾部商工会議所などと連携し、市街地の空き店舗の情報収集とインターネット等を活用した情報発信等により、新規の出店誘導を促進します。
- 各商店街や商工繁栄会の特性をいかした独自の取組が継続的に進められるよう支援します。

商業経営基盤の強化

- 利子補給等の金融支援により、中小商店の経営基盤の安定化を図ります。
- 各種支援制度の拡充や改正などについて、京都府、綾部商工会議所、京都信用保証協会、金融機関と連携し、的確、迅速な情報提供に努めます。
- *創業者塾や経営塾など人材育成事業を推進し、活性化に向けたリーダーの育成を促進します。

目標とする指標	基準値(平成21年度)	目標値(平成27年度)
商店数(累計)	514店 (平成19年度数値)	514店
商品販売額(年間)	554億円 (平成19年度数値)	580億円
古民家等活用店舗数(累計)	15店	30店

NPO法人綾部まちなかネット：綾部市域における中心市街地活性化を目指して取り組んでいる特定非営利活動法人。

創業者塾：綾部市永井産業振興基金事業の中の一つで、創業者または経営者による講演会を開催し、経営者や今後経営者となるべき後継者、起業者などに企業経営の視点などを学ぶ機会を創出するもの。

4 第4節 工業の振興

現況と課題

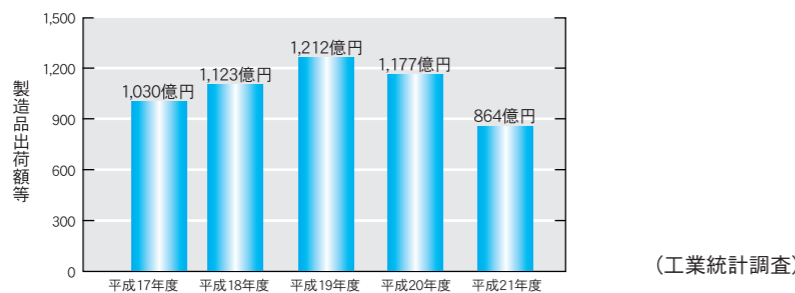
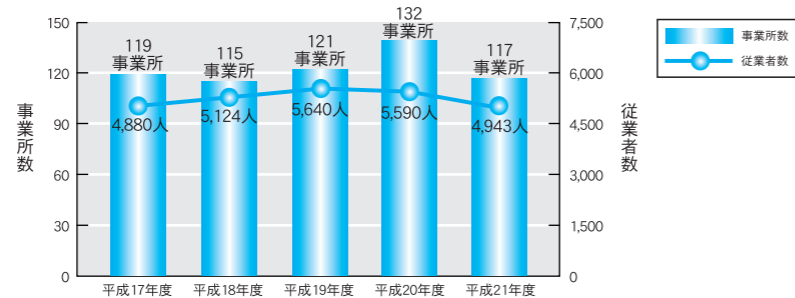
現況

- 綾部市では、全体として事業所数は増加傾向にあるものの、従業者数、製造品出荷額等は横ばいの状況にあり、長引く経済低迷の中、市内既存中小企業の廃業や綾部工業団地内企業1社の工場閉鎖など操業各社において厳しい状況が続いています。
- 昭和60年以降25年間に綾部市内に新たに立地した企業は、京都府綾部工業団地の19社を始め、綾部市工業団地に9社など計32社に上り、府北部の産業拠点として地域経済発展の一翼を担っています。
- 北部産業活性化拠点となる北部産業技術支援センター・綾部を開設し、ものづくり企業の技術支援や研究開発支援等を実施しています。

課題

- 北部産業技術支援センター・綾部を活用した異業種及び工業団地立地企業と既存企業の交流や新規事業・製品開発への取組を促進する必要があります。
- 市内経済を活性化させることのできる企業誘致と雇用確保が求められています。

■工業の推移



(工業統計調査)

施策の目標

- ◆京阪神地域からのアクセスのよさをいかした企業誘致を推進するとともに、工業団地立地企業と既存企業及び異業種の企業交流を推進し、地域経済の活性化と雇用の拡大を目指します。
- ◆北部産業技術支援センター・綾部と市内企業が連携し、ものづくり企業の経営基盤の強化や技術革新、新製品の開発などにより、工業の付加価値化を目指します。

計画

企業経営基盤の強化

- 企業経営の安定化を図るため、綾部商工会議所等関係団体と連携し、企業や企業団体の活動を支援します。
- 京都府と連携し、*ベンチャー企業などの創業を目指す起業家や団体を支援します。
- 国・京都府の金融支援制度を積極的にあっせんするとともに、市独自の利子補給制度や工場設置奨励金により、経営基盤整備の支援を行います。
- あやべ就職フェアや企業見学会など、企業、学校、関係機関と連携し、若年労働者の地元企業への定着やUターン者の雇用機会の創出に努めます。
- 一般社団法人綾部工業研修所と連携し、ものづくりを支える高い技術力の習得、若年技術者の定着に努めます。
- 市内のものづくり企業等への技術支援や産学公連携による研究開発等を支援するため、北部産業技術支援センター・綾部の利用促進に努めます。

工業団地の振興

- (社)綾部工業団地振興センターや綾部商工会議所などと連携し、既存企業と工業団地立地企業等の交流促進を図り、情報や技術、製品等の相互供給・補完を促進するとともに、新たな事業展開ができるよう支援します。

企業誘致の推進

- 舞鶴若狭自動車道や京都縦貫自動車道など、恵まれた交通アクセスを最大限にいかした企業誘致を京都府・関係団体と一体となり推進します。
- 綾部市工業団地情報提供報奨制度や綾部市工業団地企業立地促進対策補助金などの優遇制度をPRし、企業誘致を推進します。

目標とする指標	基準値(平成21年度)	目標値(平成27年度)
綾部工業研修所事業受講者数(年間)	33人	50人
北部産業技術支援センター機械貸付件数(市内企業)(年間)	171件	250件
綾部市工業団地立地企業数(累計)	9社	10社
製造品出荷額等(年間)	864億円	1,200億円
工場設置奨励金交付件数(年間)	22件	25件

*ベンチャー企業:新技術や高度な知識を軸に、大企業では実施しにくい創造的・革新的な経営を展開する中小企業。

4

第5節 観光交流の推進

現況と課題

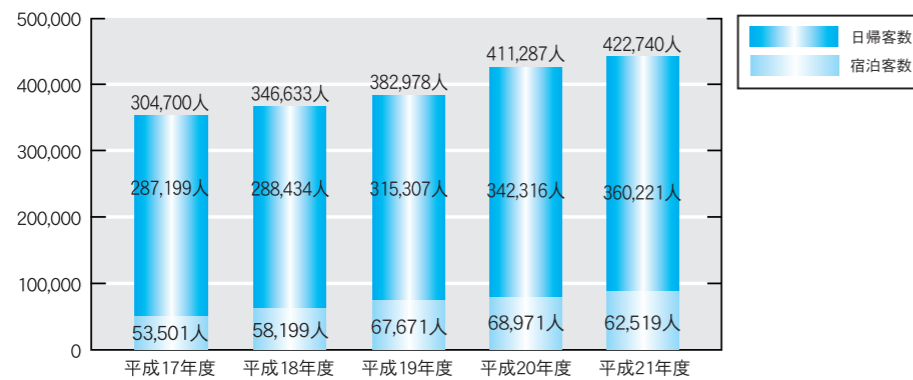
現況

- 豊かな自然環境に恵まれた綾部市には、全国的に知名度を持つ伝統産業の手すき和紙の里・黒谷や国宝・光明寺二王門、足利尊氏生誕の地とされる安国寺や私市円山古墳などの歴史的な観光資源があります。また、あやべ温泉を始め、天文館パオ、二王公園、グンゼ博物館など様々な観光施設があります。
- 市外から多くの観光客を集める中で、全市的なイベントである、あやべ丹の国まつり、あやべ水無月まつり、あやべ産業まつりや各地域の特色ある行事・祭事なども定着しています。
- 綾部市、おおい町、小浜市との連携や旧丹波の国に関連する市町との連携など、広域の観光交流事業等に取り組んでいます。
- *NPO法人里山ねっと・あやべなどを中心に米作り・そば作り・茶摘み等の農業体験や農家民泊を提供し、自然や農業、農村文化などをいかした*グリーンツーリズムを実践しています。

課題

- 観光資源のネットワーク化を図り、市外から多くの観光客を誘客するためのPRに努める必要があります。
- 綾部市観光協会の組織強化を図り、*（株）緑土や*NPO法人里山ねっと・あやべ、綾部商工会議所などの観光関連団体や民間団体と連携し、観光振興を推進する必要があります。

■観光客数の推移



NPO法人里山ねっと・あやべ:豊かな自然や地域の伝統文化、知恵、情報、人脈などをいかした参加型の事業を展開する特定非営利活動法人。
グリーンツーリズム:農山村における緑豊かな自然、美しい景観、伝統文化、地元の人々とのふれあいなどを楽しむ余暇活動。
(株)緑土:あやべ温泉の運営等を行う第3セクター。

施策の目標

- ◆綾部市特有の貴重な歴史・文化や豊かな自然・農村文化などの観光資源の活用・再評価を図るとともに、広域エリアで観光資源をネットワーク化し、一体的な観光振興を目指します。

計画

観光資源の活用と創造

- 安国寺や私市円山古墳、君尾山光明寺など、綾部市特有の魅力ある観光資源の保全と効果的な活用により、観光客の誘客に努めます。
- 伝統産業である黒谷和紙を保存・継承できる環境づくりや後継者の育成を支援します。
- 黒谷和紙協同組合と連携し、黒谷和紙工芸の里・和紙工芸研修センターの積極的な活用と健全な運営に努めます。
- 丹波まつたけや綾部茶など市内の農林産物を活用し、都市住民を始めとする観光客を意識した新たな特産品の開発を推進します。
- 高速道路などのアクセス環境の向上を絶好の機会と捉え、都市部に綾部市の魅力を更に積極的に発信し誘客に努めます。

観光資源のネットワーク化

- 広い市域に点在する観光施設を連携させた観光コースの設定など、綾部市観光協会の観光ボランティアの取組等と連携する中で、各観光資源のネットワーク化を図ります。
- 観光施設等を利用した作品展示会の開催など、綾部市を拠点として活躍する芸術家の創作活動をいかした集客・交流の取組を推進します。
- 観光関連産業との連携による活性化を図るため、綾部市観光協会の組織強化を支援します。

観光交流の促進

- あやべ丹の国まつり、あやべ水無月まつり、あやべ産業まつりなど全市的なイベントの充実を図るとともに、綾部商工会議所や宗教法人大本等との連携により、もみじまつりを開催するなど、観光交流を促進します。
- 豊かな自然と農村文化を活用したほたるまつりや山家観光やななど、地域の自主的な取組を支援します。
- *NPO法人里山ねっと・あやべなどを中心に、豊かな自然の中で綾部市の特徴をいかした農業体験・農家民泊・観光農園など*グリーンツーリズムを促進します。
- 京都府観光連盟や北近畿広域観光連盟等と連携した広域観光推進事業を始め、大丹波連携推進協議会の取組など、府県の枠を越えた観光振興を図ります。
- 京都府・関係団体等と連携し、スポーツの大会・合宿等の誘致に向けたPRや受入れ体制の整備等によりスポーツ観光の取組を推進します。

目標とする指標	基準値(平成21年度)	目標値(平成27年度)
日帰り観光客数(年間)	360,221人	430,000人
宿泊観光客数(年間)	62,519人	65,000人

4 第6節 地元雇用の確保

現況と課題

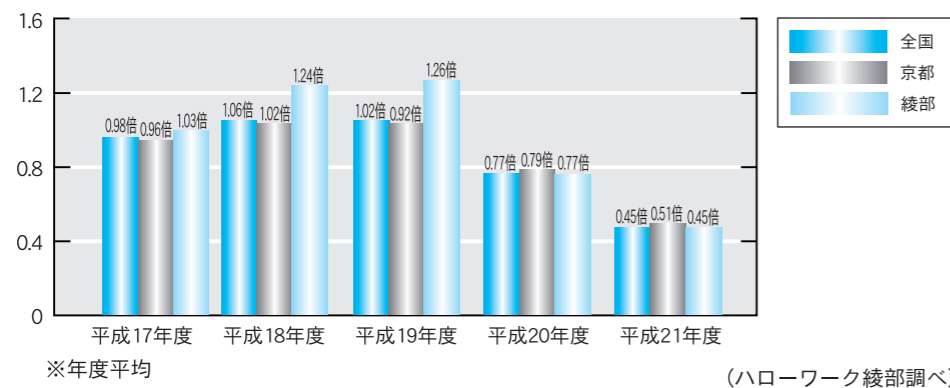
現況

- 企業の業績悪化による従業員の削減や新規採用の抑制を背景に、正規雇用のほか、アルバイトやパート、契約社員等、雇用形態の多様化が進むとともに、求人と求職の関係においてのミスマッチなど、雇用環境は更に厳しくなっています。
- 綾部市の有効求人倍率は、平成21年5月に0.28倍まで落ち込み、平成22年5月には0.45倍まで回復しましたが、依然として厳しい雇用状況が続いており、失業の長期化や新規学卒者の内定率の低迷など、幅広い範囲で悪化の影響が出ています。
- *ハローワーク綾部、*京都ジョブパーク北部サテライト等の関係機関や企業、学校と連携し、あやべ就職フェアや企業見学会、*インターンシップなど就業支援に努めています。

課題

- 安定した雇用の確保と地元就労を促進するため、企業誘致や既存企業への支援、多様な分野における雇用機会の拡大を図る必要があります。
- 高齢者・障害のある人・若年者・女性の就労環境は依然として厳しい状況が続いており、関係機関と連携し、誰もが能力をいかし安心して働くことのできる環境づくりに努める必要があります。

■有効求人倍率



ハローワーク:厚生労働省が設置する公共職業安定所の愛称。
京都ジョブパーク北部サテライト:ハローワークと緊密に連携し、相談から就職、職場への定着までワンストップで支援する京都府北部の就業支援施設。
インターンシップ:学生が一定期間企業等の中で研修生として働き、自分の将来に関連のある就業体験を行える制度。

施策の目標

- ◆国や京都府と連携し、雇用機会の拡大に努めるとともに、勤労者福祉の向上を図り、すべての市民の雇用の安定と労働環境の向上を目指します。

計画

地元雇用の促進

- 地元雇用の安定化に向け、企業誘致の推進と市内企業の活性化に努めるとともに、農業、福祉など多様な分野における雇用機会の拡大を図ります。
- 高齢者の就労機会の場として(社)綾部市シルバー人材センターの事業を支援します。
- 新規高卒者等の地元雇用と就労意識の向上を図るため、インターンシップや企業見学会、あやべ就職フェアなどの取組を促進します。
- ハローワーク綾部、京都ジョブパーク北部サテライトなど関係機関と連携し、就職情報の提供や広報PRを行います。

勤労者福祉の充実

- 関係機関と連携し、転職者や新規学卒者、高齢者、女性、障害のある人などに就労情報の提供や労働条件の改善に向けた啓発に努めます。
- 勤労者の福祉向上のため、労働団体の活動に対し助成を行います。
- 勤労者の住・生活環境の向上を図るため、融資制度の周知に努めるとともに、情勢の変化に応じた見直しを行うなど利用促進に努めます。

目標とする指標	基準値(平成21年度)	目標値(平成27年度)
就職フェア参加企業数(年間)	21社	40社
就職フェア参加者数(年間)	168人	200人
綾部市勤労者住宅資金融資件数(累計)	63件	70件



あやべ就職フェア